

第4章 まとめ

本技法開発では、新型コロナウイルス感染症の拡大、多様な働き方の広がりを背景に、新しい就労支援ニーズに対応した支援技法として、テレワークにおける職場適応に求められる基礎的な対応力を習得することを目的とした支援技法開発に取り組みました。

本技法は、クラウドなどのファイル共有サービスや ICT を使ってやりとりをすることが、今やオフィスワークでは日常的に行われていることを踏まえて、対象者をテレワークでの就職や復職を目指す者のみに限定せず、メールや Web 会議システムに関する知識付与が必要な対象者などに、必要に応じて部分的に活用することを念頭に開発しました。各支援機関において、対象者のニーズに合わせてプログラムを柔軟に活用いただければ幸いです。

今後においても、テレワークを取り巻く現状、企業・労働者のニーズ、及び ICT 技術は日々発展し刻々と変わり、それに伴って、就労支援に求められる支援内容も変化することが想定されることから、本プログラムを一つの参考とし、各支援機関での実践を通して、新しい時代に即した就労支援の内容がより充実していくことを期待しております。